

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化施設設備整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,500 千円 (前年度予算額：9,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
前年度	9,000	0	0	0	0	0	0	0	9,000
要求額	8,500	0	0	0	0	0	0	0	8,500
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県民文化局で所管する指定管理者制度導入施設 (県民ふれあい会館、ぎふ清流文化プラザ、飛騨センター及びサイエンスワールド) の施設・設備の維持管理に必要な修繕を適切な時期に実施することにより、安全・快適な施設運営を確保し、施設利用者に安全で快適な環境を提供する。

(2) 事業内容

文化施設特有の設備・機器等の突発的な故障等に迅速に対応するとともに、計画的なオーバーホールを行い長期的な保全を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

県有施設 (指定管理者制度導入) 全般

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費（修繕料）	8,000	県民ふれあい会館、ぎふ清流文化プラザ、飛騨センター及びサイエンスワールドの施設・設備の修繕
備品購入費	500	同 備品の購入
合計	8,500	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定

（２）国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

（３）後年度の財政負担

突発的な対応のため、同額程度を確保

（４）事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ふれあい会館、ぎふ清流文化プラザ、飛騨センターの文化施設特有の機器・設備の維持管理に必要な修繕等を実施し、来館される方々に安心して利用していただける施設づくりを実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

県有文化施設の修繕に要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 施設の緊急的な修繕を実施。
 （令和元年度（平成31年度））

- ・ふれあい会館コンサートピアノの修繕
- ・ふれあい会館各空調機系統自動制御機器修繕
- ・ぎふ清流文化プラザピアノ庫エアコン取替修繕 等

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 施設の修繕等を実施することにより、会館利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者間で下記の取り決めを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 <u>修繕：60万円以上</u> <u>備品：10万円以上</u> を県負担とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<p>適時適切な修繕により、大規模な破損を防ぐことが出来るほか、施設の安全確保や利用者の利便性向上につながるため、結果的にコストの削減につながっている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位の聞き取り調査を行いながら、計画的に実施している。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>設備の経年劣化がすすむなかで、今後、当該予算で対応できない大規模修繕箇所が増えてきている。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>当該事業で小規模な修繕を適宜対応していくほか、大規模改修については財政当局と協議をしながら、計画的な施設の維持管理を行っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	